科目名 Subject	メイクアップⅠ Make-upⅠ		教員名	メイクチーム	
開講年次	1	開講時期	前期	単位	2
必修／選択	必修	授業形態	実習	時間	60
実践的教育	○				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・コミュニケーション力
	◎	○	◎	○	◎
科目の概要	スキンケアからベーシックメイクアップまでの日常的なメイクアップを中心に実習を行う。道具の使用方法、化粧品の種類や使用方法などメイクアップを学ぶための基本からはじめ、メイクアップの基本技術を毎回１項目ずつ学び、フルメイクアップができるまで育成する。フルメイクアップをマスターした後は、高齢者へのメイクアップ、フォーマルメイクアップの基礎、着物に合わせたメイクアップ等を学び、美容の現場で必要とされるメイクアップ技術と知識を持った技術者を育成する。				
授業の目標	メイクアップの基礎知識（道具名称、日常メイク、アンチエイジングメイク、フォーマルメイクの手順）を理解し、練習の繰り返しにより技術を身につけ実践できるようになる。				
時間外学習 （予習・復習）	入学時に配布されるタブレットに教員作成の資料が事前に送られる。各回の授業前にそれらを読み授業の内容、意味を理解しておく。授業終了後には課題が出されることがあるため自宅でデッサンや、タブレットで撮影した顔写真を指定された様式に添付し作品課題として提出する。また各回の講義内容を自宅で復習し、次回の授業に向けた準備とする。予習と復習、及び課題制作に必要な時間数は合計で約３０時間である。				
教科書・教材	教科書	教員作成資料			
	教材	タオル、ティッシュ、コットン、綿棒			
	使用設備・備品	なし			
	参考文献	なし			
評価方法	実技試験２５％、筆記試験２５％、小課題２５％、平常点２５％				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	定期試験の要点について、掲示にて解説を行います。				
	小課題について個別にコメントを返します。				
履修上の注意	提出課題は作品のデッサンと写真を提出してもらいます。やむを得ず欠席した場合は各自で作品制作を行い提出してください。				
本科目履修と関連する資格	資格名	特になし			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１回	メイクアップする意味を学ぶ。	なぜ化粧をするのかを理解できる。	講義内容を自宅で復習。
第２回	メイクアップの歴史を学ぶ。	日本の化粧の歴史を理解できる。	講義内容を自宅で復習。タブレット内でのクラスルーム参加作業
第３回	スキンケアの意味を学ぶ。	スキンケアの重要性と肌の美しさを理解できる。	事前にタブレットに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。
第４回	スキンケア化粧品の使い方を学ぶ。	何種類ものスキンケア化粧品を使いこなせる。	事前にタブレットに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。実習内容を自宅で反復練習。
第５回	ベースメイクアップ化粧品の種類を学ぶ。	ベースメイクアップの重要性と化粧品の種類を理解できる。	事前にタブレットに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。
第６回	コントロールカラー、コンシーラーを学ぶ。	コントロールカラーとコンシーラーを使いこなせる。	事前にタブレットに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。実習内容を自宅で反復練習。
第７回	ファンデーションを学ぶ。	ファンデーションの種類を理解する。リキッドファンデーションを使いこなせる。	事前にタブレットに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。実習内容を自宅で反復練習。
第８回	フェイスパウダーを学ぶ。	フェイスパウダーとそれを使用するための道具を使いこなせる。	事前にタブレットに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。実習内容を自宅で反復練習。
第９回	ハイライト、ローライトを学ぶ。	人種による顔の立体感の違いを理解できる。	事前にタブレットに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。
第１０回	フェイスプロポーションを学ぶ。	顔の形やパーツの配置を理解しメイクアップ施術に応用できる。	事前にタブレットに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。顔写真で自身の特徴を分析し課題として提出。
第１１回	アイシャドウを学ぶ。	アイメイクアップの意味を理解し、アイシャドウが使いこなせる。	事前にタブレットに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。実習内容を自宅で反復練習。
第１２回	アイライン、マスカラを学ぶ。	アイライン、ビューラー、マスカラが使いこなせる。	事前にタブレットに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。実習内容を自宅で反復練習。
第１３回	アイブロウを描く意味を学ぶ。	アイブロウによって顔の印象が変化することが理解できる。	事前にタブレットに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。
第１４回	アイブロウの描き方を学ぶ。	アイブロウを描く道具の種類を理解し、描くことができる。	事前にタブレットに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。実習内容を自宅で反復練習。
第１５回	リップメイクを学ぶ。	リップメイクの道具種類を理解し、描くことができる。	事前にタブレットに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。実習内容を自宅で反復練習。

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１６回	チークメイクアップを学ぶ。	チークカラーによる印象の変化を理解し、使いこなせる。	事前にタブレットに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。実習内容を自宅で反復練習。
第１７回	メイクアップのバランスを学ぶ。	各パーツのバランスがとれたメイクアップを表現できる。	事前にタブレットに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。実習内容を自宅で反復練習。
第１８回	カラーハーモニーを学ぶ。	色の調和がとれたメイクアップを表現できる。	事前にタブレットに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。授業内で撮影した写真を課題として提出。
第１９回	パーティシーンのベースメイクアップを学ぶ。	クリームファンデーションが使いこなせる。	事前にタブレットに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。実習内容を自宅で反復練習。
第２０回	パーティシーンのポイントメイクアップを学ぶ。	パール、ラメ、つけまつげ、リップグロスが使いこなせる。	事前にタブレットに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。授業内で撮影した写真を課題として提出。
第２１回	着物全般に合わせたメイクアップを学ぶ。	洋装と和装のメイクアップの違いを理解できる。	事前にタブレットに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。
第２２回	留袖のメイクアップを学ぶ。	留袖に合わせたメイクアップが表現できる。	事前にタブレットに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。授業内で撮影した写真を課題として提出。
第２３回	老化による顔の変化を学ぶ。	美齢学に基づき老化による顔の変化が理解できる。	事前にタブレットに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。
第２４回	アンチエイジングメイクを学ぶ。	若々しく見えるメイクアップが表現できる。	事前にタブレットに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。授業内で撮影した写真を課題として提出。
第２５回	コンセプトメイクアップの意味を学ぶ。	コンセプトに合わせてメイクアップする意味を理解できる。	事前にタブレットに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。
第２６回	コンセプトメイクアップの表現を学ぶ。	コンセプトに合わせたメイクアップが表現できる。	事前にタブレットに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。授業内で撮影した写真を課題として提出。
第２７回	アーティスティックなメイクアップを学ぶ。	アーティスティックなメイクアップを表現できる。	事前にタブレットに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。
第２８回	模写メイクアップを学ぶ。	アーティスティックなメイクアップが表現できる。	事前にタブレットに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。授業内で撮影した写真を課題として提出。
第２９回	トータルメイクアップを学ぶ。	テーマに合わせたメイクアップが表現できる。	事前にタブレットに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。実習内容を自宅で反復練習。
第３０回	基礎メイクアップ全般の意味を学ぶ。	メイクアップⅠで学んだこと全般を統合して理解し表現できる。	事前にタブレットに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。実習内容を自宅で反復練習。